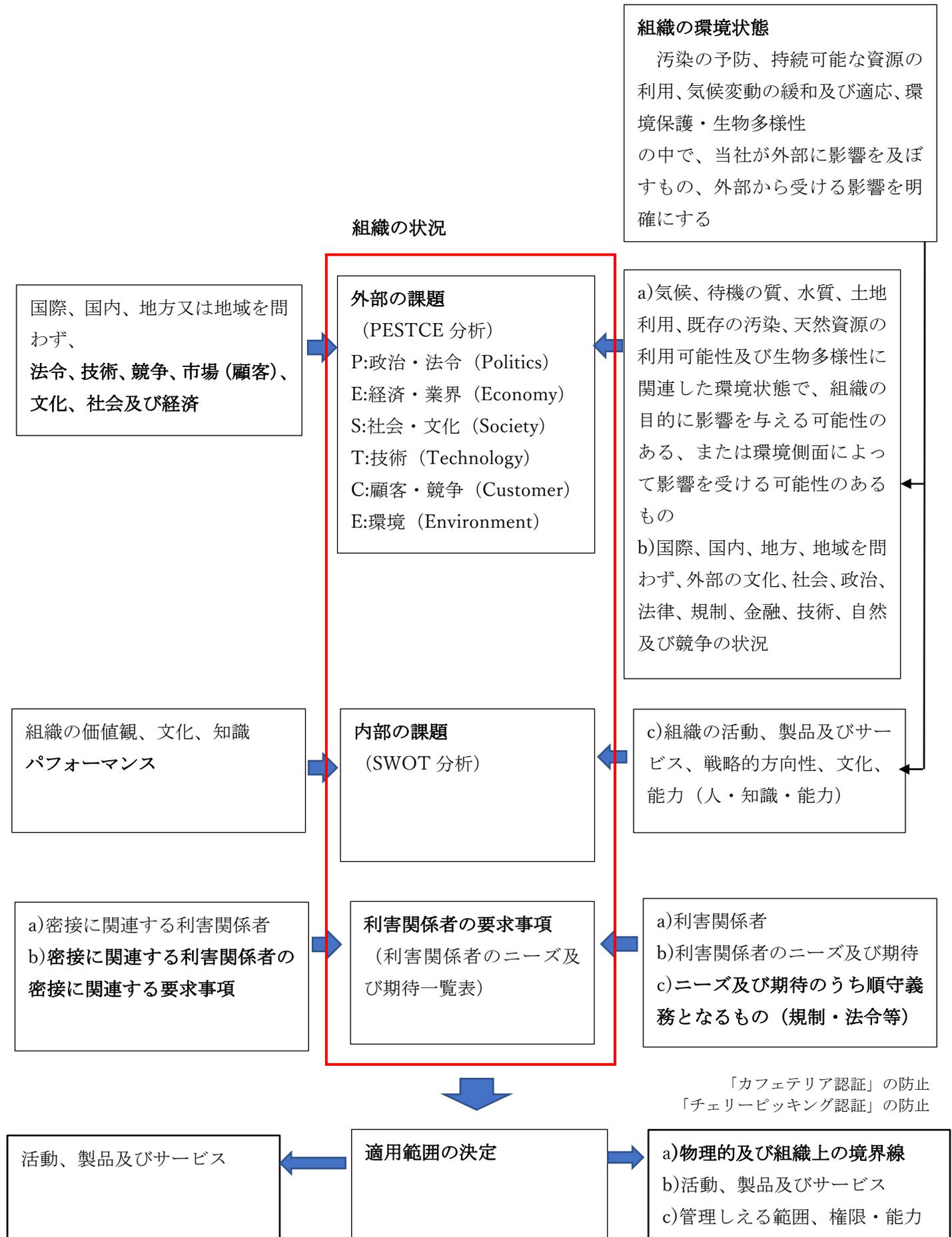


組織の状況の決定 (例)

QMS (ISO9001 : 2015)

EMS (ISO14001:2015))



リスク及び機会、リスク及び機会への取組み（例）

QMS (ISO9001 : 2015)

EMS (ISO14001:2015)

ISO9001:2015 規格の要求事項 6.1 項

ISO14001:2015 規格の要求事項 6.1 項

品質マネジメントシステムの計画を策定するとき、組織は、4.1 に規定する課題及び 4.2 に規定する利害関係者の要求事項を考慮し、次の事項のために取り組む必要があるリスク及び機会を決定しなければならない。

a)品質マネジメントシステムが、その意図した結果を達成できるという確信を与える。
 b)望ましい影響を増大する。
 c)望ましくない影響を防止又は低減する。
 d)改善を達成する。

次の事項のために取り組む必要がある、環境側面 (6.1.2 参照)、順守義務 (6.1.3 参照)、並びに 4.1 及び 4.2 で特定したその他の課題及び要求事項に関連する、リスク及び機会を決定しなければならない。

－ 環境マネジメントシステムが、その意図した成果を達成できるという確信を与える。
 － 外部の環境状態が組織に影響を与える可能性を含め、望ましくない影響を防止又は低減する。
 － 継続的改善を達成する。

(EMS に関係する項目は少ない、QMS が中心)

4.1 及び 4.2 で特定した課題からのリスク及び機会の抽出

(当社のリスク及び機会一覧表)

リスク：

- ・ SWOT 分析の弱みと PESTE 分析より考察
- ・ SWOT 分析の脅威

機会：

- ・ PESTE 分析の中で SWOT 分析の弱みを改善できる取組項目
- ・ PESTA 分析の中で SWOT 分析の強みを強化できる取組項目

ISO14001 付属書の記載事例

- a)労働者間の識字又は言葉の壁によって現地の業務手順を理解できないことによる、環境への流出。
 b)組織の構内に影響を与え得る、気候変動による洪水の増加
 c)経済的制約による、有効な環境マネジメントシステムを維持するための利用可能な資源の欠如
 d)大気質を改善し得る、政府の助成を利用した新しい技術の導入
 e)排出管理設備を運用する組織の能力に影響を与え得る、干ばつ期における水不足

取組む必要のあるリスク及び機会の決定

リスク及び機会の評価

(取組む必要があるリスク及び機会一覧表)

組織の状況に基づくリスク及び機会の取組み計画

(リスク及び機会への取組み一覧表)

環境側面の抽出

(環境側面の抽出表)

著し環境側面

(著しい環境側面登録票)

適用される環境法規制等の調査
(環境法規制等調査表)

適用される環境法規制等
(環境法規制等登録票)

品質目標に設定、又はプロセス
(品質マニュアル・手順書)に織り込んで実施する

環境目標に設定、又はプロセス
(環境マニュアル・手順書)に織り込んで実施する